



吉高Report

町内唯一の高校「県立吉田島高校」(通称、吉高)。
吉高生たちを、特命まちづくり情報特派員に任命し、学校の出来事をレポートしてもらいます。

問 吉田島高校 ☎82-0151

今月の/
特命まちづくり情報特派員

男子バスケットボール部 2年

結城 健二さん 桂田 歩岳さん

吉田島高校 よっしー

今回は、「吉田島高校男子バスケットボール部の活動」を紹介



吉田島高校男子バスケットボール部は、週5日、7人で活動しています。練習メニューを自分たちで考え、日々の練習に仲間とともに声を掛け合いながら励んでいます。技術を磨くだけでなく、礼儀や協調性を重んじることを主眼とし、一人一人がチームとして行動することを心がけています。練習は厳しいものがありますが、夏の暑さや冬の寒さを乗り切った先の大会を見据えて、日々、仲間と励まし合いながら頑張っています。

先日行われた夏季大会では、下位チームのリーグ戦でしたが、1勝することができました。また、延長戦の末に敗れることも経験しましたが、普段の練習で培った力を発揮し、最後まで諦めずに試合に臨む姿を観客の方にも見ていただけたと思っています。

部員は個性豊かなメンバーばかりですが、試合ではチームの心を一つにして、弱いところをカバーしあい、個の力を最大限に引き出すとともに、1対1では負けてしまう相手でも組織力を生かして戦うことにバスケットボールの魅力を感じています。

朝練ではシュート力を高めることができ、試合ではスピードを生かし、チームに貢献することができました。

楽しく練習し、試合にも勝つという目標を掲げ、キャプテンとしてチームをまとめています。地域の方への感謝を忘れず、応援していただけるように目標に向かって努力を続けていきたいと考えています。

(結城)

チーム一丸で頑張り、日々の練習を大切にしながら活動していきたいです。

次回の吉高 Report は令和9年2月号に掲載します。お楽しみに！

子育てナビ

兄弟姉妹の育ちを支える
保護者のかかわり

問 こども課 ☎84-0327

兄弟姉妹の存在は、お子さんにとって大切な社会性を育む経験となります。しかし、2人目以降のお子さんが生まれると、どう関わればよいか悩む保護者の声も少なくありません。



兄弟姉妹を育てる上でのかかわり方のヒントをご紹介します。

それぞれの「特別な場所」を大切に

兄弟姉妹の関係を見守る際、まず大切なのは上の子への理解と自主性を尊重する視点です。下の子が生まれても、上の子の「特別さ」を具体的な言葉で伝えることで、安心感と自信につながります。

また、下の子には年齢や性格に合った関わり方を工夫し、自然なふれあいを促すことがポイントです。



トラブルを「成長のきっかけ」に

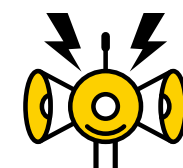
兄弟姉妹間のトラブルには、保護者が一方に味方するのではなく、子ども自身が問題を考え、解決できる場を作ることが重要です。

それぞれの気持ちに共感する言葉をかけつつ、「どうすれば皆が気持ちよく過ごせるかな？」と問いを投げかけることで、こどもたちの共感力や問題解決能力を育む絶好の機会になります。

お互いを認め合う家庭づくりを

それぞれの個性を尊重し、たくさん褒めることで、兄弟姉妹は成長していきます。

保護者がこどものたちに寄り添い、それぞれの存在を認めて愛情を伝えることで、自己肯定感や、互いを尊重する関係が育まれます。兄弟姉妹の絆を深め、温かい家庭環境を作っていきましょう。



10月18日(日)は防災訓練です！

問 地域防災課 ☎84-0326



地震は突然やってくる

地震が発生した時にどのような行動をとればよいか、日ごろから確認しておかないと、とっさに行動することができません。まずは命を守る行動としてチェックシートの項目を実践してみましょう。

当日は、各地区で防災訓練を実施します。地域の訓練に参加して、ご近所の顔なじみを増やすとともに防災の意識を高めましょう。

- ☒ 行動できたらチェックしましょう！
- ☐ 身を守る体勢(シェイクアウト)
- ☐ 家の火の元を確認
- ☐ 家の中にいる家族の安全を確認
- ☐ 避難路・出口を確保
- ☐ テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認
- ☐ 非常持出品の確認
- ☐ 生活必需品の確認
- ☐ 電気ブレーカーを遮断
- ☐ ドア・窓の施錠
- ☐ 外出中の家族の安否を確認

できたかな？



シェイクアウトとは…

揺れを感じたときに身を守る姿勢です。

- ① 姿勢を低くする
- ② 頭を守る
- ③ 動かない



サポセンNEWS

町民センター2階「開成町民活動サポートセンター」(通称、サポセン)に利用登録をしている団体の活動を紹介します。

問 地域防災課 ☎84-0326

令和8年度協働のまちづくり事業「かいせいベビー♡プレイパーク」

令和5年度から始まった「かいせいベビー♡プレイパーク」は、赤ちゃん和妈妈たちが集まり交流できる場所です。上延沢自治会館を中心に活動しています。初めての育児は喜びがある一方で、不安や孤独を感じることもあるもの。「かいせいベビー♡プレイパーク」では、そんなママたちに寄り添い、息抜きができる、ほっとする時間をお届けします。地域とのつながりを深め、ママたちも赤ちゃんも安心できる居場所づくりを目指しています。親子の笑顔が集まる場を通じて、温かいまちづくりに取り組んでいます。

サポセンからのお知らせ

サポセンに利用登録して地域活動に参加してみませんか。

登録をすることで、他団体との交流や会員募集の情報発信などメリットがたくさん！
※登録には条件があります。

サポセン利用登録はこちらから▶



かいせいベビー♡プレイパーク
Instagram▶

